



五十嵐一夫 議員

「三つの人口対策」とは

交流・関係人口・定住が最重点

問 町長が示した、振興計画実施計画案より、会津坂下町過疎対策を最重点事業と位置付けた、三つの人口対策を問う。

答 交流人口対策では、町外の方々との交流を担う「会津坂下町過疎対策協議会」を創設して取り組みます。関係人口対策では、地域おこし協力隊を活用し、地域活動の担い手として地域活性化や地域課題解決に取り組ま

す。その中の一つとして、健康増進、生涯スポーツの振興に取り組む協力隊の募集を考えています。定住人口対策事業では「住宅取得支援補助金」を創設し、町外転入最大70万円、30万円の補助を実施します。

期待 只見線全線再開通、町活性へのより身近に感じる取組を実施します

問 町民の只見線利用促進に向けて町の具体的施策、只見線を愛していくように町民へどう働きかけますか。

答 町民の只見線への愛着心をはぐくむことが重要であり、只見線を題材にした写真展・絵画展の開催、地区コミュニティセンター事業及び学校活動における只見線の積極的な活用により、身近に感じる取り組みを実施します。

問 町区間のビューポイントの再認識、発掘、整備についての考えは？

答 若宮地区の田園風景や杉・塔寺地区から会津平を見下ろすポイント、貨物車両を活かした会津坂本駅舎等のビュースポットがあり、今年駅舎の塗り替えをします。



背景に雪の飯豊連峰を走る会津坂本駅

これも質問

問 新装した立木観音と坂下駅のトイレの維持管理について。

問 「会津坂下町きれいなトイレ」マップの発行を検討してはどうか。



横山智代 議員

「寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業」再開について

令和4年4月より町単独事業で実施します

問 「寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業」再開の要件は。

答 平成29年度で事業廃止致しました「寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業」につきましては、在宅で介護している方の経済的・精神的負担軽減を考慮し、介護保険運営協議会や各種会議においてケアマネジャーやサード事業所の方等からご意見を頂きながら検討してまいりました。

今回、皆様方のご意見を踏まえ、令和4年4月より「高齢者介護用品給付事業」を実施致します。給付対象は、町内に住所を有し居住する概ね65歳以上の在宅高齢者で、常時失禁があり、介護保険の要介護認定で要介護4又は5と認定された方を対象としております。

答 人事評価制度は、単に職員を評価するだけでなく、常に町民目線で仕事を考える行動し、自ら目標を掲げ仕事に創意工夫する姿勢を持ち、更には行政課題を解決していく能力を持った職員を育成することを目的としております。また、この評価結果については職員一人ひとりの業務における能力と具体的な行動を把握できることから適材適所への人事配置など各職員の能力を最大限に発揮することができるよう活用を図っているところ

です。



職員による丁寧な説明

人事評価は適正に運用・活用されているのか

人事評価制度により、人材育成の一方策として取り組んでおります

問 職員の人材育成はどのようにされているのか。

これも質問

問 ゴミ袋（可燃）の質を変えられないのか。

問 家庭での不用品の再利用を対象とした企画は考えられないか。



地域防災の頼りになる消火栓



小畑博司 議員

消火栓付属のホース更改に地元負担は考え直せ

今年度から更改時期にも補助するようになりました

問

自治体消防は頼もしい存在ですが、少子化等の影響により組織の見直しを迫られております。そして今や、それを補完する自主防災組織が必要とされております。初期消火などに手軽に操作できる消火栓はその活動に欠かせません。その消火栓のホースが劣化した時に、地元負担を求めるような時代ではないと思うが考えを伺う。

答

今までは新規に消火栓を設置する場合に補助をしておりましたが、今年度より更新においても補助することといたしました。つきましては、現行制度を継続しながら、自主防災組織の育成・支援を行い、地域防災力の強化に努めてまいります。

夢のある「高寺山」発掘調査の継続を

国庫補助交付が決定次第、早期に着手したい

問

立木観音や上宇内薬師、杵が森古墳など多くの歴史遺産がありますが、仏教伝来の歴史に一石を投じる可能性のある、「高寺山」発掘調査は夢のある事業ではないでしょうか。町民の心の拠り所となるよう、今後も調査を継続すべきではないか。

答

今後の史跡指定を目指すため、令和4年度の国庫補助事業において、追加の発掘調査を要望しました。交付決定を受けてから、できるだけ早期に着手したいと考えております。

これも質問

中山間地集落機能強化加算を活用し持続可能な地域づくりをせよ。



蓮沼文明 議員

コロナ対策を遵守した町の「健康マラソン大会」を開催する考えはないか

近隣町村との連携においてマラソンに関するイベント等を構想

問

全国各地において、最近マラソン大会開催の気運が高まってきているが、コロナ感染防止対策を遵守した前向きな町主催「健康マラソン大会」開催の考えはないかを伺う。

答

本町においては、総合型地域スポーツクラブで実施を予定している「街なか駅伝大会」や金上地区地域づくり協議会と教育委員会共催での「ちびっこリレーマラソン大会」、子どもたちの運動能力育成を目的とした「パンビイランニングクラブ」など、健康づくりや街なかの活性化、走る楽しさに触れることを目的とした、各種大会やイベント等が行われております。また、今後近隣町村との連携による、交流と健康づくりに繋がるマラソンに関するイベント等も構想されております。



通算34回開催された町のマラソン大会

問

「B M I 鶴沼球場」の案内看板は国道49号線上の設置が必要ではないか

答

「B M I 鶴沼球場」の案内看板は、現最も球場に近い入口箇所での設置が必要不可欠と考えるが、町の見解を伺う。

「鶴沼球場」の案内看板は、現在国道49号線沿い宮古地内一ヶ所に設置されておりますが、より球場に近い鶴沼橋周辺に「B M I 鶴沼球場」の看板を設置することで、球場への案内と併せネーミングライツ事業を周知する効果も期待できるものと考えております。今後、設置場所の選定を進めるとともに、地権者のご理解とご協力を得られるよう取り組んでまいります。

これも質問

新年度事業で、町政の「柱」となる最重要事業は何かを伺う。

ふるさと納税返礼品について、広く町民からのアイデア募集の考えは。

ネーミングライツでのスポンサー命名権料は、施設整備に充当されているのかを問う。



渡部 順子 議員

只見川河川整備事業の今後は？

引き続き、県へ要望してまいります

問

片門地区の護岸整備工事は、3年をかけて今年度末で完成予定だが、内水対策としてはやはり常設ポンプの設置が、必ず必要と考える。県国へ強く要望してもらいたい。

答

護岸工事に伴い事前に県と、内水対策として常設ポンプの設置を要望しましたが、できないとのこと。排水作業用の大型集水桝二箇所及び回転場を確保してもらい追加整備して頂きました。今後も、常設ポンプの設置を要望してまいります。また、洲走地区の河岸浸食対策は、次年度以降から工事着手予定との報告があり、引き続き早期完成に向けて県へ要望してまいります。



竣工した只見川堤防かさ上げ工事

公衆トイレの今後について？

臨時交付金を活用して建て替えをします

問

南小北側の町営駐車場にあるトイレの建て替え計画は。また、中央公園にあるトイレの今後の計画は、どのようなものか。

答

町営駐車場にあるトイレは、44年が経過し、老朽化による建て替えとなりました。「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、設置場所は「みんなのバス停」西側とし、完成は、令和4年9月末を予定しております。また、中央公園のトイレにつきましては、公共下水道坂下中央処理区の管路延伸に合わせ、水洗化を実施し存続致します。

これも質問

生活路線バスの今後は？
未利用施設内の物品整理の現状は？



目黒 克博 議員

ふるさと納税の拡充は

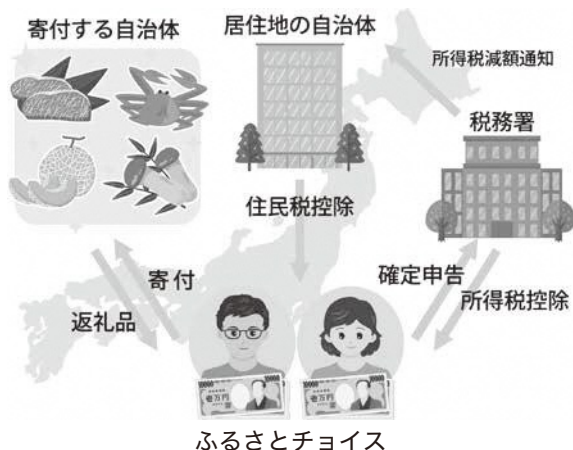
新たな目標達成に向け取り組みます

問

令和4年度の納税額目標達成の具体策を問う。

答

本年度の寄付額は2月末で約2億5千万円を超え、過去最高額となっております。令和4年度は寄付金3億円を目指す為、情報発信・新たな返礼品・ポータルサイトの追加を実施します。また多くの方に関心を持って頂くために、人気の高い「米・馬肉・牛肉・季節の果実・ビーズクッション等のPRを充実させ、目標達成に向けた取り組みを進めてまいります。



問

農業従事者と後継者担い手育成の支援取組を問う。

答

安定した農業経営の継続に向け、経営所得安定対策交付金事業の取組を実施し、土地利用型作物や収益の高い園芸作物の導入等による農業所得の確実な確保と安定的な農業経営の実現につなげ、農業者個々が目指す農業経営の方向性に寄添い、県国等の施策をフル活用した生産基盤強化や経営継続、発展に向けた支援に取組んでまいります。

これも質問

JR只見線利用と観光事業について
空き家対策について



赤城大地 議員

若者による地域づくり推進事業の今後の展望は

会農の生徒にもアイデアをいただき取り組みます

問

町長が公約として掲げた、若い方々によるプロジェクトチームの創設とも関係する「若者による地域づくり推進事業」の今後の展望を伺う。

答

これからのまちづくりには、次世代を担う若者たちがまちづくりの中心となつて活躍することが必要であると認識しております。

若者による地域づくり推進事業は若者が様々な立場から意見やアイデアを出し合い、自らまちづくりを実践することを通して会津坂下町への愛着を醸成するものです。令和4年度につき

ましては、会津農林高等学校の生徒が地域づくり活動に参加し、発酵食品による健康増進の取り組みや小中学生の農業体験学

習の講師となる小中高の連携についても取り組んでまいります。



坂下高校の生徒による公園の植栽

課題解決型の地域づくり体制の今後の展望は

地域づくり交付金を増額し、各地区と連携を強化します

問

課題解決型の地域づくりの今後の展望は。

答

各地区に交付している地域づくり交付金は、地域の課題を解決するための交付金で、令和4年度においては各地区一律50万円の予算を計上しております。

課題解決の地域づくりを実現するためには地域が抱える課題を住民同士が話し合い、決定し、協働で関わる必要があります。そのため、町も関係機関と連携を密にしています。



渡部正司 議員

デジタル化戦略は

利便性向上へ調査研究します

問

住民視点の「顔の見える行政」を推進するとしてデジタル化が進められている。住民視点ではどう変革していくか。

答

多様化する住民ニーズに対応し、利便性の向上を図り、行政サービスを効率的に提供していくことが重要です。真に必要な行政サービスは何か、行政手続き上の住民負担の軽減策

はないか、利便性を向上させる手法はないか等々、調査研究を重ねていきます。デジタル技術の活用は、業務改善

のひとつの手法として捉えており、自治体デジタル化の調査研究をアナログ的手法も組み合わせる進めてまいります。

問

本町において災害ボランティアの受入体制は整っているのか。

答

効果的なボランティア活動が行われるために、災害対策本部の中にボランティア活動に関する情報提供の窓口を設置し、災害に関してどの分野でどのようなニーズがあるのか、またどのような専門的知識、技能を持ったボランティアがいるかを把握し、



便利になるデジタル化

問

学びを保障する家庭通信環境の格差是正は。

答

教育タブレット通信環境が整っていない家庭に対し、格差がないよう、4月よりモバイルルーターの無償貸出を行います。



佐藤宗太 議員

新型コロナウイルスまん延予防対策について
会津保健所独自での対応がなされております

問 町民の生命を守るために、新型コロナウイルス感染症等宿泊療養施設認定に向けて働きかけをすべきと思うが、当町の考えは。

答 軽症者等の宿泊療養施設としては、感染者と非感染者の空間を分けることができること、療養個室内に共同ではないトイレ及び浴室があることなどがありません。町が働きかけをすれば、条件に合う施設においては認定されることは可能と考えますが、本町にはこれらの条件を満たす施設はないため、難しいと考えます。

問 5歳から11歳対象の新型コロナウイルスワクチン接種の考え方と副反応への対応は。

答 保護者の同意と立ち合いのもと接種していただくことになりました。副反応につきましては、12歳以上の方と同様、接種部位の痛み倦怠感、頭痛、発熱等様々な症状が臨床試験で確認されているところです。十分な注意が必要となることから、町といたしましては、総合病院小児科を指定医療



地域医療のかねめ

機関とし、3月下旬から接種を予定しております。接種を受ける方と保護者の方が少しでも安心して接種できる体制を整えてまいります。

令和4年は、町民みなさんとの時間をたくさんつくります！

コロナウイルス感染症拡大により、約2年にわたり町民の皆さんとの懇談会を開催できずにいましたが、会津坂下町議会基本条例に基づき、感染防止対策をしながら、様々な角度で懇談できればと思います。突然、議員から連絡がいくかもしれません。その際は、快くお引き受けいただければと思います。よろしくお願いします。



ばんげ未来トーク ～町民懇談会～